

はじめに

日頃より、産業界をはじめとする関係者の皆様には、当センターの利用及び事業推進にご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

時代は、今までに経験したことのない経済不況の状況から、国全体が今だに抜け出せずにあります。

こうした状況の中、県内の企業の皆様が事業活動を推進していく中で、それぞれの企業が抱える技術的な課題を解決に向け支援する公設の試験研究機関として、当センターの役割はますます大きくなっているものと考えております。

さて、長崎県では平成 23 年度から 27 年度までの 5 年間の「長崎県総合計画」を策定しました。それに伴い、産業振興の計画である「長崎県産業振興ビジョン」、科学技術分野の計画である「長崎県科学技術振興ビジョン」も新たに策定し、長崎県の産業集積の充実に向けて様々な取り組みを行っております。

こうした中、窯業技術センターにおいては、組織体制の見直しを図り、新たに「戦略・デザイン科」を設け、産地支援に向けたマーケティング調査・研究、消費者指向のデザインや機能性商品の開発、陶磁器に限らずデザイン全般の振興を図るため中小企業デザイン力強化対策事業にも取り組んでおります。今年度も引き続き「長崎デザインアワード 2012」の開催などにより、長崎ブランドの構築や技術支援を行い、関係者の皆様に成果をお返しできるよう努力してまいります。

窯業技術センターは、本県の伝統ある焼物をはじめ、異業種分野の企業の皆様におかれましても、気軽に利用していただける施設です。各種相談は直接センターを訪問されても結構ですし、電話でもメールでもかまいませんので宜しくお願い致します。

本報告書は、平成 23 年度の業務を取りまとめたものです。関係各位の皆様にご活用いただくとともに、ご意見をいただければ幸いに存じます。

平成 24 年 6 月

長崎県窯業技術センター
所長 山本 信